

予算決算常任委員会

開催 9月17日・18日・19日・24日
◎若見 孝信 ○岡村 浩雅 他委員15名
(※ 渋井康男議会選出監査委員を除く)

令和5年度 一般会計決算

歳入決算額 **230億3,821万3,294円**

歳出決算額 **212億1,313万8,097円**

歳入歳出差引額 **18億2,507万5,197円**

翌年度への繰越すべき財源を差し引いた実質的な収支

16億6,502万6,197円の黒字決算

決算ピックアップ

ふるさとづくり寄附事業

寄附額6億円を超えた、ふるさと納税の返礼品等にかかる費用。



2億9,843万7千円

中小企業振興資金融資事業

中小企業の経営安定化を図るため制定した、市の融資制度の運用。



15億2,996万1千円

防災行政無線管理事業

スマートフォンアプリによる防災情報配信システムを導入。



3億8,081万3千円

清掃費各種負担金

塩谷広域行政組合の負担金。



4億5,884万3千円

桜の郷づくり事業

早乙女桜並木再整備工事。



1億4,560万3千円

学校ICT管理事業

小中学校の児童・生徒用端末とインターネット環境の整備。(継続事業)



1億885万4千円



委員からの指摘

県内1位の徴収率

国民健康保険を除く徴収率が、平成30年度から令和5年度まで、県内1位を続けていることは、担当課及び担当者の自主財源確保に対する不断の努力の成果であり、大いに評価したい。



職員の適正配置

業務量が増大する中、適材適所に適正数の職員を配置し、業務の効率化と最適化を図り、人事異動に配慮と工夫をお願いしたい。



国民健康保険の不納欠損について

納付した市民が不公平感を抱くことのないよう、税務課との連携を密にし、不納欠損額の減額に取り組んでほしい。



選挙の投票率の向上

当市においても様々な事業を展開しているところだが、残念ながら投票率の向上には結びついていない。市民に政治へ関心を持ってもらえるよう、議会と協働して取り組んでほしい。



広報紙発行事業

現在、広報紙は10,370部を新聞折込している。情報が行き届かない家庭がないよう、デジタル版の利用促進と全世帯への配布などを検討してほしい。



まちなか保健室事業

令和5年度の利用は362名。健康を維持することはとても大切である。利用者を増やすことと、喜連川地区での開設も今後検討してほしい。



公営住宅維持管理事業

築40～60年経過し老朽化した公営住宅は現在の入居者が退去した後、解体予定である。しかし耐震補強されていないため、地震の際に危険である。福祉と連携し、移転の交渉を粘り強くすすめてほしい。